



News Release

2020年9月24日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

中古品の事故に注意 ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方の中古品の事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2015年度から2019年度までの5年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生した中古品^{※2}の事故は計111件^{※3}ありました。中古品の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3、事故発生件数上位10品目の製品別事故発生件数を表4に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 本資料では、中古品販売店で購入したもの、インターネットオークション及びインターネット通販で購入した中古品、譲渡された物、中古住宅などに既設で設置されていたものなどを「中古品」と呼ぶ。

※3 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2015年度		3	4	1	4	6			3		21
	(内数) 火災事故		(3)	(3)	(1)	(3)	(6)			(1)		(17)
	2016年度	2	4	2	5	2	6					21
	(内数) 火災事故	(1)	(3)	(1)	(4)	(2)	(5)					(16)
	2017年度			7	7	3	9			1		27
	(内数) 火災事故			(4)	(6)	(3)	(6)					(19)
	2018年度		3	2	3	2	6	1		4		21
	(内数) 火災事故		(1)	(2)	(2)	(1)	(5)	(1)		(3)		(15)
	2019年度		2	1	7	3	6		2			21
(内数) 火災事故		(2)	(1)	(5)	(3)	(5)		(2)			(18)	
合計	2	12	16	23	14	33	1	2	8	0	111	
(内数) 火災事故	(1)	(9)	(11)	(18)	(12)	(27)	(1)	(2)	(4)	(0)	(85)	

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡	1		1		1			2		5	
		重傷	1	1		1	1			1		5	
		軽傷		2	3	1	2					8	
	物的被害	拡大被害	1	7	7	15	10	16	1	2	3		62
		製品破損		1	6	3	1	16			2		29
		被害なし				2							2
合計		2	12	16	23	14	33	1	2	8	0	111	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			4	3		5					12
	B 製品および使い方に問題があったもの						1					1
	C 経年劣化によるもの			1	3	1	2					7
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの			2	2	6	3					13
	小計	0	0	7	8	7	11	0	0	0	0	33
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの						1					1
	E 誤使用や不注意によるもの			1	4	1	5			4		15
	F その他製品に起因しないもの		4	2	1	1	5			2		15
	小計	0	4	3	5	2	11	0	0	6	0	31
その他	G 原因不明なもの	1	6	5	6	2	7		1	1		29
	H 調査中のもの	1	2	1	4	3	4	1	1	1		18
	小計	2	8	6	10	5	11	1	2	2	0	47
合計		2	12	16	23	14	33	1	2	8	0	111

表 4. 製品別事故発生件数（上位 10 品目）

品名	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
パソコン			1	2	4	5		1			13
冷蔵庫	1			1		6			1		9
電子レンジ		1	2			6					9
電気ストーブ			2	2		1		1			6
電気洗濯機		1	3	2							6
ガス給湯器				1	1	2			1		5
石油ファンヒーター		2			2						4
テレビ			1	2					1		4
携帯電話		2		1		1					4
石油ストーブ			1	1			1		1		4
合計	1	6	10	12	7	21	1	2	4	0	64

（2）関東甲信越地方において発生した事故の事例

① インターネットで購入したノートパソコンによる事故

・ 2015年5月、千葉県、拡大被害

（事故内容）

使用中のノートパソコンのバッテリーパックから発煙し、ノートパソコンが焦げた。

（事故原因）

非純正品のバッテリーパック内部の制御基板で、パターン間の短絡またはトランジスターの故障により異常発熱し、外郭樹脂を焼損したものと推定されるが、制御基板の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。

② インターネットで購入したガスこんろによる事故

・ 2017年7月、神奈川県、被害なし

（事故内容）

ガスこんろに点火したら、グリル排気口付近から火が出た。

（事故原因）

使用者が中古品のガスこんろを設置した際に、2つあるガス接続口の一方の閉塞栓が取り外されていることに気付かず点火確認を行ったため、開放されたガス接続口からガスが漏れてこんろの炎が引火したものと推定される。

なお、取扱説明書及び設置工事説明書には「ガス接続工事は、ガス供給業者又は有資格者が行う。正しく設置されていることを確認してから機器のガス栓を開き、取扱説明書に基づき、点火及び作動の確認を行う」旨、記載されている。

③ 譲渡された電気カーペットによる事故

・ 2017年11月、東京都、製品破損

(事故内容)

電気カーペットを焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電気カーペットの温度コントローラー内部のリレー接点回路には、リレーの寿命を延ばすために接点の溶着を回避する機能が内蔵されており、長期間の使用が可能となったが、リレー接点が開閉を重ねることにより、金属粉が温度コントローラーのリレー接点回路の内部に堆積し、湿気の影響も受け、ショートし、コントローラーのケースが一部溶融したものと考えられる。

製造事業者は、2010年（平成22年）1月25日にプレスリリースを行うとともに、翌26日に新聞社告を掲載し、当該製品を含む対象機種について、無償で製品交換を実施している。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：松本（まつもと）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820